

政策分析シート（令和8年度）

政策名		伝統文化の継承と都市間交流の推進			政策No	09	部名 部長名	地域文化スポーツ部 中野内線3700		
関連部門		政策企画部								
行政評価事業体系		分野	V	文化創造都市						
目的	区民が主役の芸術文化の振興により生活の質を高め、区の魅力を内外に発信すること、区民・生活・地域が芸術文化でつながるまちを創る。 有形・無形の文化財の保存や、郷土の歴史や地域について学ぶ機会の提供などにより、伝統文化の継承や新たな文化の創造に向かい、地域や区民と一体となって区の文化力を向上させる。									
指標	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文				
			5年度	6年度	7年度					
	①	充実した余暇・文化活動、 地域の人とのふれあいの実感	2.51	2.56	2.59	充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じますか？				
	②	興味・関心事への取り組み	3.17	3.17	3.23	興味・関心のあることに取り組むことができていると感じますか？				
	③	生涯学習環境の充実	3.10	3.13	3.21	生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか？				
	④	地域への愛着	2.89	2.98	2.99	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？				
	⑤	文化的寛容性	2.68	2.69	2.70	文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？				
	⑥									
	⑦									
	指標	政策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明	
5年度				6年度	7年度	8年度 見込み	目標値 (8年度)			
①		荒川ふるさと文化館利用者数（人）	17,122	11,199	10,563	2,026	16,000	展示室及び伝統工芸ギャラリー来場者 8年6月休館		
②		「伝統技術展」参加職人数（人）	53	52	54	53	66			
③		荒川区文化祭来場者数（人）	15,687	15,578	17,728	20,032	23,000			
④		芸術文化・地域振興事業来場者数（人）	39,952	43,840	47,749	51,050	55,000	芸術文化振興財団（ＡＣＣ）が行う芸術文化・地域振興事業		
⑤		国内交流都市との連携事業数（事業）	35	37	32	37	37	各課で実施している国内交流都市との連携事業数		
⑥		海外都市交流事業参加者数（人）	255	308	330	360	360	区民と外国人が相互交流する事業の合計		
⑦										

(単位：千円)

		勘定科目	6年度	7年度	差額			勘定科目	6年度	7年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	164,617	197,966	33,349	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	386,435	391,590	5,155		国庫支出金	3,025	5,083	2,058	
		維持補修費	282,699	66,882	▲ 215,817		都支出金	1,513	1,891	378	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	193,499	196,917	3,418		使用料及び手数料	3,749	3,565	▲ 184	
		減価償却費	157,393	167,446	10,053		その他行政収入	15,707	12,900	▲ 2,807	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	23,994	23,439	▲ 555	
		賞与・退職給与引当金繰入額	16,353	33,419	17,066		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 1,177,002	▲ 1,030,781	146,221	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	▲ 2,239	▲ 512	1,727	
		行政費用合計(b)	1,200,996	1,054,220	▲ 146,776		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 1,179,241	▲ 1,031,293	147,948	
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	0		
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 1,179,241	▲ 1,031,293	147,948		
貸借対照表	流動資産	勘定科目	6年度	7年度	差額	流動負債	勘定科目	6年度	7年度	差額	
		収入未済	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	404,962	17,331	▲ 387,631	
		その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金	7,586	8,394	808	
	固定資産	有形固定資産	3,003,139	2,964,861	▲ 38,278	固定負債	その他の流動負債	0	0	0	
		土地	1,642,186	1,642,186	0		固定負債	205,844	213,023	7,179	
		建物	7,780,273	7,908,753	128,480		特別区債	154,564	137,232	▲ 17,332	
		建物減価償却累計額	▲ 6,424,447	▲ 6,590,465	▲ 166,018		退職給与引当金	51,280	75,791	24,511	
		工作物等	11,051	11,051	0		その他の固定負債	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 5,923	▲ 6,664	▲ 741		負債の部合計	618,392	238,748	▲ 379,644	
		無形固定資産	0	0	0		正味財産	3,714,319	4,070,692	356,373	
		建設仮勘定	71,716	81,044	9,328		正味財産の部合計	3,714,319	4,070,692	356,373	
		その他の固定資産	1,257,856	1,263,535	5,679		負債及び正味財産の部合計	4,332,711	4,309,440	▲ 23,271	
			資産の部合計	4,332,711	4,309,440		▲ 23,271				

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用として物件費の割合が高く、文化施設の運営経費や設備更新等経費が主である。
○その他行政収入は、主に指定管理者利益納付金等である。
○貸借対照表に計上されている有形固定資産は文化施設に関するものである。7年度は荒川区民会館の電気設備等の改修を行ったため、建物の資産額が増となっている。

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	○区民が身近な場所で芸術・文化に親しむことができる機会を提供できるよう、文化団体やACC、東京藝術大学等と連携し、様々な事業を実施する等、芸術文化の振興を図っている。 ○国内都市及び海外都市との交流においては、イベントへの相互参加、高校生相互派遣など様々な分野において事業を展開している。 ○区に伝わる有形・無形の文化財の保存や活用、伝統工芸技術の継承を支援するとともに、伝統文化の魅力を伝えるための展示や体験事業等を行っている。
課題	○子どもから高齢者、障がい者など、誰もが芸術文化に気軽に親しむことができる場を創出するとともに、これまで以上に体験機会の充実に取り組んでいく必要がある。 ○区民にとって国内交流都市がより身近に感じることができるような交流事業を検討する必要がある。海外都市交流についても、若者をはじめとした住民相互の草の根の交流を促進し、区民の関心をより一層広めるとともに、友好関係をさらに深める必要がある。 ○伝統工芸技術や文化財の素晴らしさを多くの方に知ってもらうためのPRと、伝統工芸技術者の技術の向上・研鑽のための支援・後継者のサポート等が必要である。
今後の方向性	○コンサートや絵画展、障がい者を対象としたアートセラピー等、誰もが気軽に親しむことのできる芸術文化事業を積極的に実施する。特に、子どもの頃から本格的な芸術にふれることができるよう、体験型の事業を重点的に展開していく。 ○国内外の都市間交流について、交流を継続し、郷土や地域文化に対する誇りと愛情を深めるとともに、異文化に対する理解を促進していく。 ○先人たちが創り育んできた伝統文化の保存・継承に努めるとともに、SNS等を活用した積極的なPRや展示のリニューアル等により、伝統工芸の魅力を広く発信していく。

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
芸術文化の振興	重点的に推進	重点的に推進	芸術文化の力を区の施策に活用することにより、地域の活性化や区の情報発信力の強化を目指すとともに、区民が主体となる取組を推進し、より荒川区に根ざした芸術文化の振興を図る。
国内・海外都市との交流の推進	重点的に推進	重点的に推進	国内外の交流都市の地域特性を活かし区民主体の幅広い交流を行うことに加え、区内在住外国人の支援や交流の充実に図る。
伝統的文化の保存と継承	重点的に推進	重点的に推進	区における文化財、史跡、伝統工芸技術の保存・継承において重要であり、引き続き重点的に推進する。